

令和4年度新規採択(着工)
令和5年度 第1回計画変更
令和7年度 第2回計画変更

草地畜産基盤整備事業(草地整備型【道営草地整備事業】)

計画変更概要書

ひがしも ことさんろくだい
東藻琴山麓第2地区

北海道オホーツク総合振興局東部耕地出張所

I 変更を必要とする内容及び理由	事業種	変更内容			変更の理由							
		地域	主要工事	事業費								
	区画整理	○	○	○	受益者の申し出並びに現地調査結果による事業量・事業費の減 ・営農計画の変更による取り止めによる減							
	1 地 域											
	事業種	区分	現 計 画					変 更 計 画				
地目		田	牧草畑	山林	その他	計	田	牧草畑	山林	その他	計	
区画整理			453.6	4.0		457.6		287.9	3.9		291.8	有
計			453.6	4.0		457.6		287.9	3.9		291.8	
2 主要工事計画												
(1) 農業用排水施設	事業種	区分 項目 名称	現 計 画				変 更 計 画				変更の有無	
			排水量 (m3/s)	貯水量 (千m3)	取水量 (m3/s)	受益面積 (ha)	排水量 (m3/s)	貯水量 (千m3)	取水量 (m3/s)	受益面積 (ha)		

(2) 農業用用水路	事業種	区分 項目 名称	現 計 画		変 更 計 画		変更の有無	
			延長(m)	受益面積 (ha)	延長(m)	受益面積 (ha)		
(3) 農業用排水路	事業種	区分 項目 名称	現 計 画		変 更 計 画		変更の有無	
			延長(m)	受益面積 (ha)	延長(m)	受益面積 (ha)		
(4) 農業用道路	事業種	区分 路線名	現 計 画		変 更 計 画		変更の有無	
			延長(m)	構造	延長(m)	構造		
(5) 農地保全等施設	事業種	区分 名称	現計画		計画変更		変更の有無	
			受益面積(ha)		受益面積(ha)			
(6) その他改良保全	事業種	工事種類	現計画		計画変更		変更の有無	
			受益面積(ha)		受益面積(ha)			
	区 画 整 理			457.6		291.8		有
		草地整備		453.6		287.9		有
		起伏修正Ⅰ		450.6		285.8		有
		起伏修正Ⅱ		2.9		2.1		有
		排根線均平		0.1		-		有
		暗渠排水		2.8		0.6		有(起伏修正Ⅰと重複)
		草地造成		4.0		3.9		有
		草地造成Ⅰ		0.5		0.8		有
		草地造成Ⅱ		3.3		3.0		有
		排根線除去		0.1		-		有
	障害物除去		0.1		0.1		無	

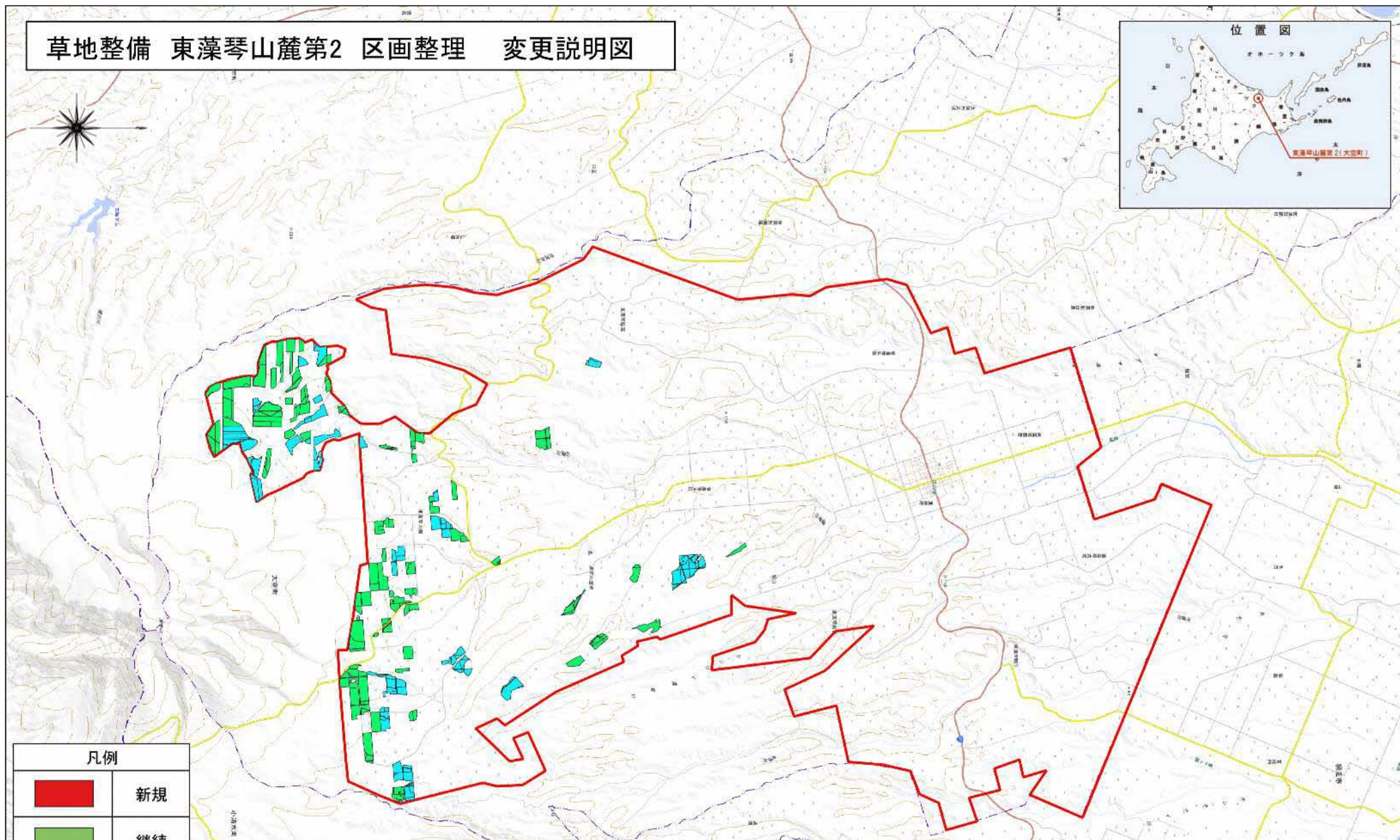
3 事業費						
事業種	区分	現計画 (千円)	変更計画 (千円)	増減 (千円)	増減の内訳 (千円)	変更の有無
区画整理		561,000	398,500	△ 162,500	自然 増 減 77,000	有
					工法変更	
					事業量変更 △ 239,500	
					その他	
					自然 増 減	
					工法変更	
					事業量変更	
					その他	
					自然 増 減	
					工法変更	
					事業量変更	
					その他	
					自然 増 減	
					工法変更	
					事業量変更	
					その他	
					自然 増 減	
					工法変更	
					事業量変更	
					その他	
					自然 増 減	
					工法変更	
					事業量変更	
					その他	
					自然 増 減	
					工法変更	
					事業量変更	
					その他	
計		561,000	398,500	△ 162,500	自然 増 減 77,000	
					工法変更	
					事業量変更 △ 239,500	
					その他	

変更後の概要

1 目 的										
農業を基幹産業とする大空町の南部に位置する本地区は、藻琴山山麓の冷涼な高原を活かした酪農経営が展開されている。補助事業の導入によって草地基盤の整備や近代化による規模拡大が順調に進められているが、FTA・EPA締結による国外生産物との競合や、高齢化といった問題を抱えており、現況の生産者への営農支援に加えて、新規就農が可能な基盤生成が課題となっている。このような状況下において、機械設備の導入による省力化と経営規模拡大が必要となる。したがって本事業では、ほ場の起伏や傾斜の改善、区画の拡大、排水改良などの整備を実施し、ほ場の利用効率性と生産性の向上を図ることで、労働環境の改善と良質な飼料基盤に基づく安定的な経営体の発展を促進するものである。										
地域 の 所 在 及 び 現 況	2	(1)地域の所在	網走郡大空町							
		(2)地域の現況								
		ア 地 形	傾斜3° ～8° が99. 5%を占める							
		イ 地 質	火山灰性土							
		ウ 土 壌	灰色褐色低地土と黒ボク土からなる							
		エ 気 象	内陸性気候							
		平均気温	6.4 ℃		かんがい期平均気温		15.0 ℃			
		平均降水量	785.3 mm		積雪深	- cm	平均降水日数	133日		
		根雪期間	12月3日～4月4日		無霜期間		5月12日～10月24日			
		オ 水利状況								
	カ 営農状況	畑作、酪農が主体で山麓部には酪農地帯が展開されている。								
	キ 地域環境の概況	本地区は、女満別町の東藻琴地区、山麓部に広がる酪農地帯である。								
	(3)地積及び戸数									
	地目		田	畑(牧草)	山林				計	受益戸数
			(ha)	(ha)	(ha)				(ha)	(戸)
	全体	現況		287.9	3.9				291.8	20
		計画		291.8					291.8	20
	基本 計 画	3	(1)事業計画内容							
		地区では粗飼料生産の効率化のため、TMRセンター等の共同化やコントラクター利用などによる大型機械の導入が進められている。その前提条件としては大型機械の運行を円滑にするほ場の大区画化や地区全体で生産基盤整備水準の高位均一化が不可欠となる。しかし草地整備の遅延から、雑草の繁茂による牧草収量の減少及び飼料の栄養価の低下がみられ、経年変化に伴うほ場内の不陸が効率的な機械作業を阻害しているほか、低位部では湿害が見られるなど、粗飼料生産拡大が阻まれているほ場が随所にみられる。本事業では草地の起伏修正、造成及び排水改良を行い、草地生産性向上と大型機械による営農作業の円滑化を図るものである								
		(2)環境との調和への配慮								
工 事 又 は 管 理 要 領	4	地区は旧東藻琴村南部の藻琴山山麓の高原地帯で酪農を主体とした農業が展開されている。近年、農業の担い手の高齢化や労働力不足に、輸入飼料、燃料・資材の高騰など、酪農畜産を取り巻く環境は厳しさを増している。このような状況下、粗飼料生産基盤の強化、施設機械設備の整備と近代化、労働環境の改善、担い手の育成確保などが、喫緊の課題となっている。地区の酪農畜産の安定的な発展を図るため、適正な草地整備による粗飼料生産基盤の強化、飼料生産コントラクターやTMRセンターの利用促進、家畜ふん尿の有効活用などを推進する体制づくりが進められている。								
	主 要 工 事 計 画	事業種	受益戸数 (戸)	受益面積 (ha)	事業量及び事業内容					
		区画整理	20	291.8	草地整備 草地造成	A=287.9ha A=3.9ha				
	造成又は改良 される施設の 管理方法等	施設名	管理団体名		管理方法					
		該当なし								

換地計画の要領	5	(1)換地計画樹立の必要性 該当なし											
	(2)換地計画樹立の基本方針												
	ア 従前の土地の地積の基準 該当なし												
	イ 農用地集団の方法												
	換地区	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法										
			位置選択	1戸当たりの目標団地数		区画畦畔の取り扱い							
	該当なし												
	ウ 非農用地の換地方針												
	換地区	種類	非農用地区域の位置の概略	面積	換地の手法	換地取得予定者	その他						
	該当なし			ha									
	エ 清算の方法												
	(3) 土地改良法第5条6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積												
	換地区	機能交換に係る土地				一般公有地	合計						
		国有地	道有地	市町村有地	計								
	該当なし	ha	ha	ha	ha	ha	ha						
費用の概算	6	(4)換地処分の時期に関する特則 該当なし											
	事業種	事業費	負担区分			工期	関連事業費	備考					
			国	道	地元								
			千円	千円	千円								
			(負担割合)	(50.0)	(25.0)								
			区画整理	398,500	199,250				99,625	99,625	R4～R8	—	
	計	398,500	199,250	99,625	99,625								
	効用	(1)事業効果											
		効果項目	食料の安定供給の確保に関する効果	事業の持続的発展に関する効果	農村の振興に関する効果	多面的機能の発揮に関する効果	その他	計(千円)					
		年総効果(便益)額	44,356	—	—	—	14,930	59,286					
現況年総農業所得額		—	—	—	—	—	—						
年総増加農業所得額		65,378	—	—	—	—	65,378						
(2)事業の効用													
項 目		地区全体	区画整理				備考						
総便益額 ⑧		1,224,917	1,224,917										
総費用 ③=①+②		405,265	405,265										
総費用総便益比 ⑨=⑧÷③		3.0	3.0										
総所得償還率 ⑩=④÷⑥×100	—	—											
増加所得償還率	—	11.9	11.9										
他事業との関係	8	(1)農業部門内における他の事業との関係及び調整方法 該当なし					9 計画(変更)概要図 別図のとおり						
	(2)農業部門外の事業との関係及び調整方法 該当なし					10 その他							
						該当なし							

草地整備 東藻琴山麓第2 区画整理 変更説明図



凡例	
	新規
	継続
	除外
	地区界

単位:ha

事業種	変更前	変更後	増減量	増減率(%)	増減内訳		
					継続	新規	除外
区画整理	457.6	291.8	△ 165.8	△ 36.2	274.4	17.4	183.2